秋の数学散策講座 「組み合わせ論と母関数」

2017年1月16日

柳田伸太郎 (名古屋大学大学院多元数理科学研究科)

yanagida [at] math.nagoya-u.ac.jp

## 1 自然数の分割

自然数 n の分割: n を自然数の和に分解する方法のこと。

和の順番を変えたものは同じ方法とみなす。例えば

n = 1: 1 = 1

n=2: 2=2, 1+1

n=3: 3=3, 2+1, 1+1+1

n=4: 4=4, 3+1, 2+2, 2+1+1, 1+1+1+1

n = 5:  $5 = 5, 4 + 1, 3 + 2, 3 + 1 + 1, 2 + 2 + 1, 2 + 1 + 1 + 1 + 1, 1 + \dots + 1$ 

練習. n=6と n=7 の場合に n の分割を全て求めよ。

n の分割の総数を p(n) と書くと、n が小さいところでは次のような結果になる。

問. p(n) を全ての n について求めるにはどうすればよいだろうか。

# 2 数列

- $\{a_n\}$  と書いたら数列  $a_1, a_2, a_3, a_4, \ldots$  のこととする。例えば
- (1)  $a_n = 1 \ \text{$\ $\ $} 5 \ 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, \dots$
- (2)  $b_n = n \ \text{$\ $\text{$$}$} 5 \ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, \dots$
- (3)  $s_n = n^2$  \$\tan 1, 2, 4, 9, 16, 25, ...
- (4)  $q_n = n$  番目の素数 なら 2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19, ...
- (5) n 番目のフィボナッチ数を  $f_n$  と書くと  $f_1=1,\,f_2=2,\,f_{n+2}=f_{n+1}+f_n.$

練習. 
$$f_n=rac{1}{\sqrt{5}}\left(\left(rac{1+\sqrt{5}}{2}
ight)^n-\left(rac{1-\sqrt{5}}{2}
ight)^n
ight)$$
 を示せ。

問. p(n) は n の式で書けるだろうか?

# 3 母関数

実は p(n) には簡単な表示はない。しかし別の方法で理解できる。 これから先、数列  $\{a_n\}$  は 0 番目から並べることにする:  $a_0,a_1,a_2,a_3,\dots$ 数列  $\{a_n\}$  の (文字 x を変数とする) 母関数とは

$$a_0x^0 + a_1x^1 + a_2x^2 + a_3x^3 + \dots + a_nx^n + \dots$$
  
=  $a_0 + a_1x + a_2x^2 + a_3x^3 + \dots + a_nx^n + \dots$ 

という (無限) 和のこと。 例えば

(1)  $a_n = 1$   $(a_0 = 1, a_1 = 1, a_2 = 1, \ldots)$  の母関数は

$$1 + x + x^2 + x^3 + x^4 + \dots + x^n + \dots$$

(2)  $b'_n = n + 1$   $(b'_0 = 1, b'_1 = 2, b'_2 = 3, \ldots)$  の母関数は

$$1 + 2x + 3x^2 + 4x^3 + 5x^4 + \dots + (n+1)x^n + \dots$$

(3) p(n) := (n の分割の数) の母関数は次のようになる。但し p(0) := 1 と定める。

$$1 + x + 2x^2 + 3x^3 + 5x^4 + 7x^5 + 11x^6 + 15x^7 + \cdots$$

実は(1)と(2)の母関数はもっと簡単に表せる。

公式. (1) について

$$1 + x + x^2 + x^3 + \dots = \frac{1}{1 - x}.$$
 (\$\pmu\$)

"証明".  $1+x+\cdots+x^n=\frac{1-x^{n+1}}{1-x}$  で |x|<1 なら  $n\to\infty$  で  $x^n\to0$  なので。実際、x=0.1 なら

(左辺) = 
$$1 + 0.1 + (0.1)^2 + (0.1)^3 + \cdots$$
  
=  $1 + 0.1 + 0.01 + 0.001 + \cdots = 1.111 \cdots$ ,  
(右辺) =  $\frac{1}{1 - 0.1} = \frac{1}{0.9} = \frac{10}{9} = 1.111 \cdots$ .

練習.(2)について

$$1 + 2x + 3x^2 + 4x^3 + \dots = \frac{1}{(1-x)^2}.$$

問. p(n) の母関数について、似たような表示は得られるだろうか?

#### 4 分割数の母関数

少し天下り的だが、公式  $(\sharp)$  で x を  $x^m$   $(m=1,2,3,\ldots)$  に取り換えた

$$\frac{1}{1-x} = 1 + x + x^2 + x^3 + \cdots$$

$$\frac{1}{1-x^2} = 1 + x^2 + x^4 + x^6 + \cdots$$

$$\frac{1}{1-x^3} = 1 + x^3 + x^6 + x^9 + \cdots$$

を考える。これらを「m の小さいものから順に掛け算してp(n) の母関数に近づけていく」と

$$\frac{1}{1-x} \cdot \frac{1}{1-x^2} = (1+x+x^2+x^3+\cdots)(1+x^2+x^4+x^6+\cdots)$$

$$= 1+x+2x^2+2x^3+3x^4+3x^5+4x^6+4x^7+\cdots$$

$$\frac{1}{1-x} \cdot \frac{1}{1-x^2} \cdot \frac{1}{1-x^3} = \frac{1}{1-x} \cdot \frac{1}{1-x^2}(1+x^3+x^6+\cdots)$$

$$= (1+x+2x^2+2x^3+3x^4+3x^5+4x^6+4x^7+\cdots)$$

$$\times (1+x^3+x^6+\cdots)$$

$$= 1+x+2x^2+3x^3+4x^4+5x^5+7x^6+8x^7+\cdots$$

$$= 1+x+2x^2+3x^3+4x^4+5x^5+7x^6+8x^7+\cdots$$

$$= 1+x+2x^2+3x^3+5x^4+6x^5+9x^6+11x^7+\cdots$$

$$\frac{1}{1-x} \cdot \frac{1}{1-x^2} \cdot \cdots \cdot \frac{1}{1-x^5} = 1+x+2x^2+3x^3+5x^4+7x^5+10x^6+13x^7+\cdots$$

$$\frac{1}{1-x} \cdot \frac{1}{1-x^2} \cdot \cdots \cdot \frac{1}{1-x^6} = 1+x+2x^2+3x^3+5x^4+7x^5+11x^6+14x^7+\cdots$$

$$\frac{1}{1-x} \cdot \frac{1}{1-x^2} \cdot \cdots \cdot \frac{1}{1-x^7} = 1+x+2x^2+3x^3+5x^4+7x^5+11x^6+15x^7+\cdots$$

7の分割数まで (つまり  $x^7$  まで) 母関数を合わせるには、7つの積が必要。

公式. 分割数 p(n) の母関数は次のような無限積と等しい。

$$p(0) + p(1)x + p(2)x^{2} + \dots + p(n)x^{n} + \dots = \frac{1}{1-x} \cdot \frac{1}{1-x^{2}} \cdot \dots \cdot \frac{1}{1-x^{n}} \cdot \dots$$

無限和と無限積の記号

$$\sum_{n=0}^{\infty} a_n := a_0 + a_1 + a_2 + \cdots, \quad \prod_{n=1}^{\infty} a_n := a_1 \cdot a_2 \cdot \cdots$$

を使うと

$$\sum_{n=0}^{\infty} p(n)x^n = \prod_{k=1}^{\infty} \frac{1}{1 - x^k} \tag{\clubsuit}$$

と書ける。この等式 (♣) は Euler が発見したとされる。

練習. 等式 (♣) を証明せよ。

## 5 Jacobi の三重積公式

分割数の母関数の公式 ( $\clubsuit$ ) の右辺に現れた  $\prod_{k=1}^\infty (1-x^k)^{-1}$  の「逆数」  $\prod_{k=1}^\infty (1-x^k)$  を考えよう。 練習、  $\prod_{k=1}^\infty (1-x^k)$  を展開せよ。

試しにやってみると

$$(1-x)(1-x^{2})(1-x^{3})(1-x^{4})(1-x^{5})(1-x^{6})\cdots$$

$$= (1-x-x^{2}+x^{3})(1-x^{3})\cdots$$

$$= (1-x-x^{2}+x^{4}+x^{5}-x^{6})(1-x^{4})\cdots$$

$$= (1-x-x^{2}+2x^{5}+\cdots)(1-x^{5})\cdots$$

$$= (1-x-x^{2}+x^{5}+x^{6}+x^{7}+\cdots)(1-x^{6})\cdots$$

$$= 1-x-x^{2}+x^{5}+x^{7}+\cdots$$

実は次の等式が成立する。

$$\prod_{k=1}^{\infty} (1 - x^k) = \sum_{n=-\infty}^{\infty} (-1)^n x^{\frac{3n^2 - n}{2}}$$
 (\infty)

x の冪が小さい所で確かめてみると

より

(右辺) = 
$$(-1)^0 x^0 + (-1)^1 x^1 + (-1)^{-1} x^2 + (-1)^2 x^5 + (-1)^{-2} x^7$$
  
=  $1 - x - x^2 + x^5 + x^7 + \cdots$ .

等式 (♡) も Euler が発見したもので、Euler の五角数定理と呼ばれる。

練習.  $e_n := \frac{3n^2-n}{2}$  は五角数と呼ばれるものである。このことを確認せよ。

実は(♡)は次のように拡張される。

$$\sum_{n=-\infty}^{\infty} x^{n^2} y^n = \prod_{j=1}^{\infty} (1 - x^{2j})(1 + x^{2j-1}y)(1 + x^{2j-1}y^{-1})$$
 (\$\ldphi\$)

この等式(♠)を Jacobi の三重積公式という。

練習. 分割数の母関数の公式 ( $\clubsuit$ ) と Euler の五角数定理 ( $\heartsuit$ ) から、分割数 p(n) と五角数  $e_k$  に関する次の関係式を導け。

$$p(n) = p(n - e_1) + p(n - e_{-1}) - p(n - e_2) - p(n - e_{-2}) + p(n - e_3) + p(n - e_{-3}) - \cdots$$
$$= \sum_{k \neq 0} (-1)^{k-1} p(n - e_k).$$

但し最後の式で  $n-e_k<0$  となる場合は  $p(n-e_k)=0$  と約束する (従って有限和である)。

練習. (♠) から (♡) を導け。